| 福井県 | 機関名 | 公益財団法人ふくい産業支援センター |
|---|---|---|
| | 部署名 | デザイン振興部 |
| | 電話連絡先 | 0778-21-3154 |
| 事業名 | 福井デザインアカデミー開催事業 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

1 事業目的
短期・長期カリキュラムのブランディングや商品開発に関するデザイン人材研修、企業経営者向けのセミナーを通じてデザインマネジメントができる実践的な人材の育成を図る。

2 事業内容
ブランディング&商品開発講座（全 12 回、定員 20 名、受講料:50 千円）
　ブランディング等の手法について、個々の受講者が持つ特性（企業の業種等）に応じた実践的な演習を実施。カリキュラムの中で、実際の商品開発やブランディング等、具体的な課題を演習課題として取り組む。

3 事業主体 公益財団法人ふくい産業支援センター デザイン振興部

<参考 URL >
http://www.sankan.jp/fmc/

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 平成11年度 | 2,683千円 |

| 福井県 | 機関名 | 公益財団法人ふくい産業支援センター |
|---|---|---|
| | 部署名 | デザイン振興部 |
| | 電話連絡先 | 0778-21-3154 |
| 事業名 | 産業デザインプロデュース事業 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

1 事業目的
　消費者ニーズの多様化の中で、商品や販促ツール等へのデザイン活用はもとより、市場ニーズの把握から商品企画、販売までのブランディングなど一連のマーケティング活動による商品の差別化、商品力のアップが重要である。そこで、一連の活動をマネジメントできる人材が不足している企業に対して、専門的な指導・助言ができる人材を派遣し、より多くの県内企業のブランディング等の活動を促進する。

2 事業内容
(1)デザイナー派遣（有料）
　具体的な課題を有する企業に対して、課題に適合した県内専門家を派遣することで、企業ブランディング、商品や販促ツール等のデザインについて指導を行う。
　・実施回数 延べ 20 回
　なお、専門家謝金の 1/2 を企業負担とする。
(2)グループカウンセリング（無料）
　同一課題を持つ企業グループに対し、評価指導を行い、今後の方針策定を支援する。
　・1 グループあたり 2 回
　・実施回数 延べ 10 回

3 事業主体 公益財団法人ふくい産業支援センター デザイン振興部

<参考 URL > http://www.sankan.jp/fmc/

ポケットケトルの
加飾デザイン開発

バックル型時計の
加飾デザイン開発

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 平成10年度 | 2,267千円 |

| 福井県 | 機関名 | 公益財団法人ふくい産業支援センター |
|---|---|---|
| | 部署名 | デザイン振興部 |
| | 電話連絡先 | 0778-21-3154 |
| 事業名 | デザインコネクト事業 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

1 事業目的

北陸新幹線開業に向けて、デザインの活用によって成長が期待される製造業・農林水産業・食品加工・医療・広報メディア等の企業向けにデザイン導入時の課題を解決し、「目立つ」商品・サービスの実現につなげていく。

2 事業内容

(1)デザインコネクトセミナー

分野毎に異なるニーズに応じたセミナーを開催。

・テーマ毎の講師によるデザイン開発ノウハウの伝授

・カウンセラーによるセミナー解説やセミナー後のグループワーキングを行い、デザインセンター事業の活用を促進

実施回数:4 回（地域ニーズに応じて開催）

定　　員:50 名程

テーマ例:選ばれるパッケージデザイン、売れるための仕組みをデザインする　等

(2)展示販売会

デザインセンター事業を活用し、デザインを導入した新商品等の展示販売会を実施。エンドユーザーの声を収集することでより魅力的な開発につなげる。

実施回数:1 回

場　　所:ものづくりキャンパス多目的ホール

3 事業主体 公益財団法人ふくい産業支援センター デザイン振興部

<参考 URL > http://www.sankan.jp/fmc/

黒崎輝男氏の WEB 配信講義

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 令和2年度 | 2,900千円 |

| 福井県 | 機関名 | 公益財団法人ふくい産業支援センター |
|---|---|---|
| | 部署名 | デザイン振興部 |
| | 電話連絡先 | 0778-21-3154 |
| 事業名 | 福井ものづくりキャンパス教室運営事業 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

1 事業目的

福井ものづくりキャンパスにおいて、ものづくり産業の振興や人材育成の拠点として活用するために、ものづくり企業関係者、職人、学生など幅広い層を対象にしたものづくりに役立つ講座・教室を開催するとともに、施設のPRを行う。

2 事業内容

講座・教室の実施運営

・ものづくりに役立つ講座、デザイン・ものづくりをPRするイベント等の実施

（例:伝統工芸品を活用したイベント）

・伝統工芸を活かしたワークショップ・講習会・基礎講座等の実施

（例:伝統工芸の職人等によるワークショップ）

・メディア等を活用した福井ものづくりキャンパスの広報

（例:デザイン基礎講座）

3 事業主体

デザインセンターふくい（公益財団法人ふくい産業支援センター）

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 平成28年度 | 5,447千円 |

| 福井県 | 機関名 | 福井県 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 産業労働部　産業技術課　伝統工芸室 |
| | 電話連絡先 | 0776-20-0377 |
| 事業名 | 新幹線開業に向けた新たな F-TRAD 商品開発支援事業 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

1 事業目的

伝統工芸の新ブランド「FUKUI　TRAD」について、新たなアパレル・デザイン企業との連携による商品開発を進めるとともに、企業が持つチャンネルを活かし、ショップでの販売やアーティスト等著名人による情報発信を行う。さらに、旅行者がワンストップで伝統工芸の購入と体験ができるアンテナショップを福井駅前に開設し、ブランドの認知度向上と販売促進を図る。

2　事業内容

(1)アパレル・デザイン企業等の持つチャンネルを活かした販売・プロモーション

・アパレル企業や著名デザイナーの監修による、ターゲットを絞った新たなテーマの商品を開発。伝統工芸が浸透していない業界における新たな活用方法を提案

・首都圏店舗での「FUKUI　TRAD」商品販売など企業の持つ販売・広報チャンネルを活用し、福井県と伝統工芸をプロモート

(2)SNSによる情報発信

・著名人のSNSや駅でのイベント等により商品情報を全国に拡散

(3)新幹線の開業に向け、旅行者をターゲットにした認知度向上

・福井駅構内やハピリンなど駅周辺に「FUKUI　TRAD」アンテナショップを整備。

FUKUI　TRAD ブランド商品

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 内容を変更して実施予定 | 令和3年度 | 32,816千円 |

| 京都府 | 機関名 | 京都府中小企業技術センター |
|---|---|---|
| | 部署名 | 企画連携課　デザイン情報係 |
| | 電話連絡先 | 075-315-9506 |
| 事業名 | 産業デザイン活用推進事業 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

**■デザインワーク展示事業（KYOTO DESIGN WORK SHOW）**

**開催趣旨**

例えば自社製品を開発されるにあたって、デザイナーの力を借りようかと考えられたことはありませんか。

一方で、デザイン料はどれくらい必要なのか、そのデザイン料で、どれだけのことをしてくれるのだろうか、本当に売れるものができるのだろうか、そもそも自社に適したデザイナーはどうやって探したらいいのだろう、といった心配や不安があって、なかなか踏み切れないでいる。そういう経営者の方々に、デザイナーさんたちと実際にお話しいただき、まずは距離を縮めていただこうというのがこの催しです。彼らがどんな考えでメーカーと一緒に仕事をされているのかを知り、自社で考えているプロジェクトに加わってもらってそれを進めることが実際に可能なのかを検討し進めていく、その契機としていただければ幸いです。

**日時**

令和4年2月17日～18日　10時～17時

**場所**

京都パルスプラザ「京都ビジネス交流フェア 2022」会場内

**出展内容**

プロダクトデザイン事務所6社とそのデザイン事例

**来場者**

約4,000名

**参考URL**

https://www.kptc.jp/gijutsushien/kyoto-design-work-show2022/

**■デジタル映像コンテンツ活用促進事業**

**映像制作技術講座（撮影技術基礎）**

仕事の中で映像を利用した情報発信の機会が増えています。この講座では、「撮影技術の基礎」をテーマに、ビデオカメラと、スマホやデジカメの動画撮影機能との違いや、初心者に起こりがちな失敗、業務で使用する本格的な撮影テクニックなどについて、実習を交えながら、編集時に困らない撮影ノウハウや、三脚など周辺機材選びのポイントまで、映像撮影の基本技術を学びます。

**映像制作技術講座（初級編集～ビギナーズ～）**

ビデオ撮影をしたことはあるが、編集は未経験。余分な箇所をカットしたり、字幕やタイトルにも挑戦してみたい。そのような方々を対象に、パソコンに付属している簡単な編集ソフト、ムービーメーカー、フォト（Windows）等を使用して、初めての映像編集にチャレンジする、2時間程度の講座です。

**受講者**

6回開催　21名

**参考URL**

https://www.kptc.jp/seminor/eizou/

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 平成13年度 | 800 千円 |

| 京都府 | 機関名 | 京都府中小企業技術センター |
|---|---|---|
| | 部署名 | 企画連携課　デザイン情報係 |
| | 電話連絡先 | 075-315-9506 |
| 事業名 | 京都グッドデザイン戦略支援セミナー事業 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

**■グッドデザイン賞+iF デザインアワード応募説明会**　　－デザイン力の向上と魅力ある製品の創出を－

グッドデザイン賞　そして iF デザインアワードの募集が始まりました。
今年もそれぞれの主催団体から講師をお招きしてその概要や応募することで得られる効果、受賞した際のメリットなどを解説いただきます。賞への応募は、自社のデザイン資産を見直す良い機会です。デザイン力を向上し、魅力的な製品やサービスを創出していくためにご活用ください。
今回、グッドデザイン賞では応募締め切り直前の具体的な内容を相談できる個別相談会を、昨年度から審査方法や募集のタイミングなどが変わった iF デザインアワードでは、様々な疑問をざっくばらんに質問できる座談会を開催しますので、この機会をぜひご利用ください

**日時**　令和 3 年 4 月 22 日(木)　13:00～17:00
**開催方法**　オンライン(Zoom)／会場参加　併用　（会場参加は個別相談希望者優先）
**会場**　京都府産業支援センター　5 階　研修室
**講師**　公益財団法人日本デザイン振興会
川口　真沙美　氏
iF 日本オフィス
高田　昭代　氏

**■iF デザインサロン in 京都**

iF デザインアワードは 1953 年にドイツで設立されたデザイン賞で、そのデザインが世界的に優れたものであることを示すものです。また国際的な市場開拓のツールとしても活用されており、近年は日本からの応募、そして受賞も増えています。
今回は、応募説明だけでなく、審査員経験者等から申請書作成のポイントや前回から変更となった iF の審査システムなどについて解説いただきます。また、希望者にはミニプレゼンをしていただき、疑似審査－「審査の視点」を考える時間を設けます。

**日時**　令和 3 年9月 28 日(火)　14:00～16:00
**参加方法**　オンライン
**講師**　高田　昭代　氏　iF 日本オフィス　代表
塚本　カナエ　氏　Kanae　Design Labo 代表／2021 審査員

**■京都グッドデザイン戦略支援セミナー　デザイン活用ガイダンス**
デザイン導入の現場から　～初めてのデザイン、その成功のポイント～

企画、開発、営業、そして経営者の方にもぜひともお聞きいただきたい、デザイン活用のガイダンスです。KYOTO DESIGN WORK SHOW に出展されているデザイン企業から、それぞれの事例や経験を踏まえて、成功のポイントや、よくある失敗などについてガイドいただきます。

**日時**　令和 4 年 2 月 17 日(木)　13:30～15:00
**場所**　京都パルスプラザ「京都ビジネス交流フェア 2022」会場内
**講師**　アイ・シー・アイ デザイン研究所　インターデザイン研究所　オーラボ
クロスエフェクト　サカキメディカルデザイン　DAFFY

**受講者**
3回開催　286名
**参考URL**
https://www.kptc.jp/seminor/design/

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 平成23年度 | 300 千円 |

| 大阪府 | 機関名 | 大阪府 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 商工労働部 中小企業支援室 商業・サービス産業課 |
| | 電話連絡先 | 06-6210-9491 |
| 事業名 | 大阪府産業デザインセンター事業「デザイン総合相談」(D-チャレンジ) | |

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

**[事業の趣旨]**

中小企業のデザイン経営やデザイン活用の高度化に向けて、総合的なデザイン相談・指導体制を整備し、ブランディングや商品開発のイノベーションを支援する。

**[実施方法]**

○相談形態 : 来訪、出張、オンラインミーティング等による個別面談

○支援方法 :

・デザイン専門員が丁寧にヒアリングし課題解決に向けたアドバイスを行い、相談内容によっては最適な分野のデザイナーを紹介し、デザインによる解決策を講じる。

・必要に応じて、知財、技術、経営などの各種支援機関とも連携して課題解決へと導く。

・各地域の商工会・商工会議所や金融機関等と「出かけるデザイン相談会」を実施し、個別支援を行う。

**[主なアドバイス内容と実績数]**

①課題の整理を行い、新規事業の取組み方やブランディングのアドバイス、また商品開発の方向性に関するアドバイスなど。

②プロダクトデザインのアドバイス、デザイナーへの依頼ポイント・契約方法や条件などをアドバイス。

③パッケージやロゴマークなど商品訴求力を高めるデザインの考え方や、デザイナーへの依頼ポイント・契約方法等アドバイス。

④商品や企業を訴求する WEB などのプロモーションツールの依頼ポイント・条件などをアドバイス。

⑤「ホームページ無料診断」を令和 2 年度より開始。事業者のサイトが検索結果に最適化しているか評価し、評価シートを提供。

| | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 |
|---|---|---|---|---|
| 相談事業社数 | 104 社 | 125 社 | 187 社 | 139 社 |
| うちホームページ診断 | | | 110 社 | 50 社 |

＜参考 URL＞

デザイン総合相談(D-チャレンジ) http://www.pref.osaka.lg.jp/mono/oidc/dchallenge.html

(動画)デザインのこと。ビジネスのこと。相談にのります https://www.youtube.com/watch?v=n5l1BiFmVk

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 昭和 62 年度 | 10,710 千円<br>＊デザイン研究指導費含む |

| 大阪府 | 機関名 | 大阪府 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 商工労働部 中小企業支援室 商業・サービス産業課 |
| | 電話連絡先 | 06-6210-9491 |
| 事業名 | 大阪府産業デザインセンター事業「大阪府デザイン・オープン・カレッジ」 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

**【概 要】**

中小企業及びデザイン事務所等を対象に、デザイン分野の先端知識や技術、最新動向に関するワークショップやフォーラムを開催し、中小企業には商品開発にデザインを活用できる人材を、また、デザイン事務所等には社会のニーズに合わせた新たなデザイン活動に対応できる人材の育成をめざした研修事業を実施。

なお、令和3年度は、コロナウイルス感染症の拡大防止対策を踏まえ、3密対策として特別セミナーのみオンライン配信により開催し、ワークショップは中止とした。

**■特別セミナー**

テーマ:欲求起点で考える新商品・新サービスの作り方
講師:株式会社ウサギ　代表取締役　高橋晋平　氏
内容:株式会社バンダイで約 10 年間おもちゃの企画開発やマーケティングを担当し、国内で累計 260 万個を売り上げる大ヒット商品「∞（むげん）プチプチ」などを生み出してきた株式会社ウサギの高橋晋平氏から、「欲求起点で考える新商品・新サービスの作り方」をテーマに講演。
受講料:1,500 円（税込み）
受講者数: 52 名
オンライン配信試聴期間:10 月 1 日～31 日

＜参考 URL＞
https://www.pref.osaka.lg.jp/mono/oidc/college2021.html

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 昭和 62 年度 | 844 千円 |

| 大阪府 | 機関名 | 大阪府 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 商工労働部 中小企業支援室 商業・サービス産業課 |
| | 電話連絡先 | 06-6210-9491 |
| 事業名 | 大阪府産業デザインセンター事業「デザイン研究指導」 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

**1. BMB 勉強会の開催**

**［事業の趣旨］**
中小企業の情報発信とビジネスマッチングを支援するサイト「ビジネスマッチングブログ（BMB）」を核として、（地独）大阪産業技術研究所との共催により「ORIST 技術セミナー・BMB 勉強会（セミナー）」を開催。ものづくり中小企業等に社会的なトレンド情報や新技術、Web テクノロジー等の紹介。
**［実施内容］**
① BMB 第 48 回勉強会「AI を活用した故障対策の初歩」-MATLAB を利用した異常検地・故障予測・原因解析のご紹介-（7/20）
14:00-16:30 オンライン開催　参加者 52 名
② BMB 第 49 回勉強会「Web 事業者がホンネで語る！Web サイト制作・運用・集客の基礎知識」（2/22）
14:00-16:30 オンライン開催　参加者 27 名

＜参考 URL＞ https://bmb.oidc.jp/article.php?story=20210913111407324
https://bmb.oidc.jp/article.php?story=20220328142456555
https://bmb.oidc.jp/article.php?story=20220328144146428
https://bmb.oidc.jp/article.php?story=20220328145106922

**2. こども OS 研究成果の普及**

**［事業の趣旨］**
キッズデザイン協議会「こども OS 研究会」の研究活動から生まれた、アイデア／デザイン発想ツール「こども OS ランゲージ」の産業界等への普及促進と開発支援。
**［実施内容］**
「キッズデザインアカデミーアイデアソン」をオンラインで開催（8/24）。参加 20 名
主催:キッズデザイン協議会　対象:大学生・専門学校生等　内容:こども OS 発想手法の解説と演習

＜参考 URL＞
https://pds.oidc.jp/article.php?story=20210914172549425

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 昭和 62 年度 | 10,710 千円<br>＊デザイン総合相談費含む |

| 大阪府 | 機関名 | 一般財団法人大阪デザインセンター |
|---|---|---|
| | 部署名 | 業務部 |
| | 電話連絡先 | 06-6265-2260 |
| 事業名 | 「いのちと元気のために、デザイン」プロジェクト<br>経済産業省ものづくり補助金（ビジネスモデル構築型） | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

（事業趣旨）ユーザーエクスペリエンス（UX）とデジタルトランスフォーメーション（DX）を活用した、マーケットに通用する医療機器・ヘルスケアのビジネスモデルを構築するため、経済産業書ものづくり補助金（ビジネスモデル構築型）を利用し、30 社・団体による価値創造マップ、ビジネスモデルキャンバスを経て、短期事業計画の作成を行った。

（事業内容）

・令和 3 年度

実施時期　令和 3 年 7 月 28 日（水）～令和 4 年 6 月 15 日（水）
プレセミナー1 回、オリエンテーション 1 回、座学 5 回、ワークショップ 8 回、補講 5 回、個別指導のべ 47 回、成果発表会 1 回
座学は PM1 時から 5 時まで、講義+WS は講義が AM10:30～12:00、WS は 13:30～17:00

実施場所　ZOOM、大阪デザインセンター、ナレッジキャピタルほか

参加者　ものづくり企業、起業家、IT 会社、デザイン事業所など 30 社・団体、

参加費　1 社10万円　（税抜）

コーディネーター:デザイナー奥田充一氏、

メンター:医療専門家（妙中義之氏、小柳智義氏など
臨床工学士（西垣孝行氏）
医工連携コーディネーター（上村英一氏）
デザイナー（村田智明氏、羽場一郎氏）
マーケッター（石本和治氏、上野祐子氏、更田誠氏など）

内容　①医療機器開発に際しての前提知識習得、医工連携、医療業界参入のガイダンス、医療知見を介護、健康分野に拡張する場合の留意点など
②ビジネスモデル作成のためのメソッドのワークショップ
③最終的にビジネスモデルの構築＝事業計画の策定

補助金　経済産業省　ものづくり補助金ビジネスモデル構築型採択。

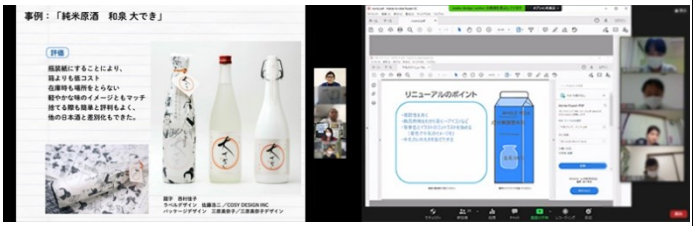
＜事業に関する情報が掲載されているサイト URL＞　https://www.osakadc.jp/exchange-meeting/13219/

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 令和4年度実施予定 |
|---|---|---|
| 令和 4 年 6 月まで事業実施。令和 4 年度事業も準備中。 | 令和3年度 | 令和 4 年 6 月まで事業実施。令和 4 年度事業も準備中。 |

| 大阪府 | 機関名 | 一般財団法人大阪デザインセンター |
|---|---|---|
| | 部署名 | 業務部 |
| | 電話連絡先 | 06-6265-2260 |
| 事業名 | 商品パッケージ企画実習講座 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

（事業趣旨）企業の商品企画・販売促進担当者を対象に、商品パッケージづくりに関する基礎知識から効果的に展開できる企画手法、デザインに取り組む留意点などをレクチャーやケーススタディ解説に加え、グループ実習・発表の内容でオンラインで開催した。




（事業内容）

・令和 2 年度

時期　2020 年 10 月 22 日（木）15:00～16:40
場所　オンライン開催
講師　三河内英樹
テーマ　パッケージデザインを見つめ直す
参加料　3,000 円　賛助会員　1,500 円（税込）
参加者　16 名

・令和3年度

時期　2021 年 7 月 8 日（木）　15:00～17:00
場所　オンライン開催
講師　三原美奈子
テーマ　「SDGsを取り入れたパッケージデザインの作り方」
参加料　5,000 円（税込）
参加者　16 名

＜事業に関する情報が掲載されているサイト URL＞　https://www.osakadc.jp/seminar-event/6646/
https://www.osakadc.jp/seminar-event/9590/

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 令和 4 年度も継続して実施予定 | 平成 28 年度 | 377 千円（令和 4 度） |

| 大阪府 | 機関名 | 一般財団法人大阪デザインセンター |
|---|---|---|
| | 部署名 | 業務部 |
| | 電話連絡先 | 06-6265-2260 |
| 事業名 | ビジネスデザインセンターの運営 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

（事業趣旨）

中小企業のデザイン導入・活用に関するあらゆる相談や情報提供、さらには要望に応じたデザイン事務所の紹介や個別カウンセリング行うなど、中小企業とデザイナーとのビジネスマッチングに努めた。新型コロナの影響を受けながらも、下半期は事務所移転による新オフィスの利便性もあり、新規に加えてリピートの企業やデザイナーの来館が大幅に増え、相談や紹介依頼件数、個別面談数も前年度よりも増加した。成約率は前年並みの 43.7%であったが、企業紹介において、会員外のデザイナーからは初回成約手数料の 7%をいただくものとし、今後のマッチング事業における収益性を高めていくスタートアップの取組みを開始した。

（事業内容）令和3年度実績

① デザイン一般相談・利用
一般相談・利用件数　2,622 件　（前年度は　2,106）

② デザイナー・デザイン事務所の紹介
依頼件数 73 社　（前年度は　55）　紹介件数 80 社　（前年度は　57）

③ 専任コーディネーターならびに専門プロデューサーによる個別面談カウンセリング
専任コーディネーター（ODC 職員）対応 135 件／専門プロデューサー（外部デザイナー）対応 15 件、合計カウンセリング件数＝150 件（前年度は　84）

④ 展示会出展、デザイン団体・行政商工団体との連携等
・文紙メッセ 2021　WEB 令和 3 年 7 月 21 日～8 月 31 日、リアル展示会8月 3 日～4 日、マイドーム大阪
・「大阪勧業展」マイドームおおさか　令和 3 年 12 月 8 日・9 日（2 日間）、中小企業のためのデザインセミナー「顧客が感動する商品開発」令和 3 年 12 年 9 日　受講者数 48 名　講師:JIDA 関西ブロック　竹綱章浩

＜事業に関する情報が掲載されているサイト URL＞https://www.osakadc.jp/matching/

| 令和4年度実施予定 | 令和4年度実施予定 | 令和4年度実施予定 |
|---|---|---|
| 令和 4 年度も継続して実施予定 | 令和 4 年度も継続して実施予定 | 令和 4 年度も継続して実施予定 |

| 大阪府 | 機関名 | 一般財団法人大阪デザインセンター |
|---|---|---|
| | 部署名 | 業務部 |
| | 電話連絡先 | 06-6265-2260 |
| 事業名 | サロン交流事業「SEMBA サロンの開催」 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

（事業趣旨）デザイン関係者、ものづくり企業等幅広い方々が気楽に集まって交流をはかり、情報発信できる場をもつため、当財団所有の船場会議室並びに令和 3 年 12 月以降は ODC セミナールームを不定期で金曜日の夜に開放して、デザイントークと交流の場である「SEMBA サロン」を開催している。
令和2年度から令和3年度上期にかけては新型コロナウィルスの影響でリアル開催が困難な時期もあったが、令和 3 年度下期から再開しており、令和 4 年度も継続開催している。令和 3 年度は 11 回実施し、延べ 208 名が参加した。

（事業内容）
・令和2年度　全1回開催
第 109 回「北欧の空間デザイン＆アートの旅」㈱乃村工藝社　DSA 関西支部長　栗原孝弘、DSA 副会長　大森あき子
・令和 3 年度　全 11　回開催
第 110 回「境界のないデザイン」　o-lab㈱　綾　利洋
第 111 回「空間の魅せかた」　㈱インフィクス　間宮吉彦
第 112 回「e-sports X well being」ロート製薬㈱　荒木健史
第 113 回「感性が「見える」化できたら？」コニカミノルタ㈱　浦谷勝一、井上曉
第 114 回「グリーン×デジタル×ファッション」　森田修史
第 115 回「災害に対して求められる特殊車両のデザイン」㈱モリタホールディングス 濱田貴行
第 116 回「EXPO2025 今こんな感じ」　岡島美佳
第 117 回「自社のアイデンティティを「見える」化する」　近藤清人、横山幸弘
第 118 回「大正元年創業　老舗和菓子店のブランド価値の育て方」　桂　太志
第 119 回「廃棄野菜からコンクリート」　町田紘太、大石琢馬
第 120 回「未来の伝統工芸の夢」　村瀬弘行、勝尾岳彦

・令和4年度　実施中
＜事業に関する情報が掲載されているサイト URL＞https://www.osakadc.jp/seminar-event/

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 令和 4 年度も継続して実施中 | 平成26年度 | 200 千円（令和 4 年度） |

| 大阪府 | 機関名 | 一般財団法人　大阪デザインセンター |
|---|---|---|
| | 部署名 | 企画事業部 |
| | 電話連絡先 | 06-6265-2260 |
| 事業名 | デザイン学生就職支援―進む！ポートフォリオ展 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

（事業趣旨）デザイン、クリエイティブ業界を目指す学生を対象にして、気軽に出展できるオンライン展覧会を ODC の HP 上で実施した。ポートフォリオ対策を出展のひとつの目標として取り掛かってもらうことを狙いとし、プロのデザイナーに審査・授賞してもらい、受賞ポートフォリオにはコメントをつけて採点側の視点を知ることにより、学生のブラッシュアップにつなげてもらうことができる。

（事業内容）
・時期　令和3年度　四半期ごとに年 4 回開催
①募集　4/1～6/30　審査 7/10　②募集　7/1～9/30　審査 10/10
③募集　10/1～12/31　審査 1/10　④募集　1/1～3/31　審査 4/10
・場所　ODC ホームページ内　特設会場
・参加者　デザイン・クリエイティブ業界を目指す学生（大学院生、大学生、専門学校生、高校生、職業訓練校生など）27 名
・出展料　無料
・審査員　㈱サクラクレパス　部長　今川清隆氏
イデア㈱　代表取締役社長　羽場一郎氏
㈱ユニオンネット　アートディレクター　佐々木可奈氏

＜事業に関する情報が掲載されているサイト URL＞ https://www.osakadc.jp/job-hunting/

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 令和3年度で事業終了 | 令和3年度 | 250 千円 |

| 大阪府 | 機関名 | 一般財団法人　大阪デザインセンター |
|---|---|---|
| | 部署名 | 企画事業部 |
| | 電話連絡先 | 06-6265-2260 |
| 事業名 | デザイン学生「Meet Up」事業 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

（事業趣旨）デザイン職、クリエイティブ職、企画職等、デザインを学んだ学生が力を活かせる仕事の求人を予定しておられる企業によるオンライン合同説明会を実施した。2つのセッションに分け、前半は新卒採用を予定している企業3社のプレゼンテーション、後半は学生を3つのグループに分けての交流会を実施し、仕事内容や疑問点について質問ができる場を設けた。

（事業内容）
・日時　令和 3 年 6 月 25 日（金）16:00～18:20
・場所　オンライン開催（ZOOM 及び YouTube にて配信）
・参加者　関西を中心としたデザイン系学部の学生（2023 年卒中心）
当日 116 名参加　アーカイブ視聴　148 名
・登壇企業　㈱ハル、㈱ロイスエンタテイメント、㈱ヘッズ
・参加料　学生は無料、企業は 6 万円（賛助会員は 4 万円）

＜事業に関する情報が掲載されているサイト URL＞ https://www.osakadc.jp/job-hunting/

| 令和4年度実施予定 | 令和4年度実施予定 | 令和4年度実施予定 |
|---|---|---|
| 令和3年度で事業終了 | 令和3年度で事業終了 | 令和3年度で事業終了 |

| 大阪府 | 機関名 | 大阪市 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 経済戦略局産業振興部企業支援課 |
| | 電話連絡先 | 06-6264-9847 |
| 事業名 | クリエイティブ産業創出・育成支援事業 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

【事業目的】
クリエイター同士のネットワークづくりを進め、クリエイター、団体、企業とのイベント連携により新たな価値を情報発信するとともに、ものづくり企業など異種業との協働を促進し、付加価値の高い製品やサービスの創出を目的とする。

【事業内容】
- 「クリエイティブネットワークセンター大阪　メビック」において以下の内容を実施。
- クリエイター同士や異種業企業との協働による高付加価値な製品・サービスの創出につなげるためのビジネスマッチングの開催
- クリエイター同士や異種業企業とのネットワーク構築、拡大の支援
- クリエイターが新たな製品・サービス開発など自ら新規事業を生み出すためのプロデュース能力向上講座の開催
- HP・SNS 等の様々な媒体で協働事例やクリエイターの情報を発信

≪施設概要≫
所在地:**大阪市中央区本町 1-4-5　大阪産業創造館 17 階**
設置主体:大阪市
開設年月:平成 15 年 5 月（令和 2 年 4 月に現施設に移転）

＜事業に関する情報が掲載されているサイト URL＞　https://www.mebic.com/

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 令和 4 年度も継続して実施 | 平成 15 年度 | 856,060 千円（大阪産業局事業交付金の一部） |

| 大阪府 | 機関名 | 東大阪市 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 都市魅力産業スポーツ部　モノづくり支援室 |
| | 電話連絡先 | 06-4309-3177 |
| 事業名 | 東大阪デザインプロジェクト事業 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

世界的工業デザイナーやクリエイター等と市内企業の交流を促進することにより、デザインの重要性をPRするとともに、デザインという資源を活かした付加価値の高い製品づくりを促進する。

＜令和 3 年度＞

■国際見本市「 LIVING＆DESIGN ONLINE」へ出展
本プロジェクトで誕生した製品を中心に、デザイン性の高い市内企業の製品を出展。
開催期間:令和 3 年 11 月 10 日(水)～11 月 30 日(火)

■国際見本市「東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2022　第 11 回 LIFE×DESIGN」へ出展
共同出展企業:5 社
開催期間:令和 4 年 2 月 8 日(火)～2 月 10 日(木)

＜参考 URL＞ https://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000002598.html

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 一部事業内容等を変更し、実施予定 | 平成 22 年度 | 2,445 千円 |

| 大阪府 | 機関名 | 堺市 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 産業振興局産業戦略部地域産業課 |
| | 電話連絡先 | 072-228-7534 |
| 事業名 | 伝統産業若手異業種交流会 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

1 事業概要

近畿経済産業局、（公財）堺市産業振興センターと共催で、伝統産業の未来を担う異業種の若手が交流し、異なる業界の横のつながりを作り刺激し合うことにより、それぞれの業界が自主的に新しい取組を生み出すきっかけを作るなど、本市の伝統産業界の活性化をめざす事業。

2 セミナー内容

(1)第１回若手異業種交流会（令和３年 10 月 28 日）

・講演:「工芸産地の担い手が持つべき視座」

原岡 知宏氏（日本工芸産地協会 理事・事務局長）（前（株）中川政七商店 取締役）

・ワークショップ　ファシリテーター:藤原 明氏（りそな総合研究所㈱ リーナルビジネス部長）

(2)第２回若手異業種交流会（令和４年３月 17 日）

・講演:「デザイン経営の手法と事例」

三嶋　貴若氏（（有）セメントプロデュースデザイン 取締役）

＜参考 URL＞

伝統産業若手異業種交流会

https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/dentosangyo/exchange-meeting.html

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 令和３年 | ０千円 |

| 大阪府 | 機関名 | 八尾市 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 魅力創造部産業政策課 |
| | 電話連絡先 | 072-924-3845 |
| 事業名 | デザインイノベーション推進事業「D.I.Y プロジェクト」 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

高い技術力や提案力を有する八尾市内に所在する事業所が、付加価値を高めた事業展開ができるよう、自社の強みを磨き上げ、地域内外の有能なデザイナー、クリエイター及び販路先等の潜在的取引先とのマッチング機会を確保することを目的に実施。

＜基本コンセプト＞

**“自社発信で行なう継続的なブランディング”**

デザインを取り入れて新たな連携先との関わりを作ったり、ブランディングを成功させるには、自社が何のために、どこへ行きたいのかという指針がなければならない。本業務ではデザインを活用し、自社の経営に活かして事業を成功させる状態になる企業を増やす。展開を見据えてどこを目指していくのか、目指したい先に自社の強みをどう活かして進んでいくのかを徹底的に考えて、参加企業が一過性ではなく継続的且つ中長期的に自ら自社のブランディングをするためのサポートを行った。

**オリエンテーション実施**

参加決定事業者へ本事業で取り組む内容とその取り組み方、今後の進行スケジュールの説明を行った。
あわせて、自社商品を開発し、販売を行なっている参考事業者訪問を行った。
実施日:10 月 22 日(金)　参加人数:11 名

**セミナー（対象事業所が持つ強みのブラッシュアップ）**

第一回:会社の事情の全体像をまとめる事業分析ヒアリングシートと、各事業者の同業者の競合を調べるための競合企業チャートの作成
第二回:ポジショニングマップを作成。企画開発においてアプローチすべき課題特定を行った。
第三回:第二回までにまとめた自社や業界の分析内容から、自社の向かうべき方向を踏まえた上で、今後展開していく予定の企画のコンセプトや、ブレスト形式にて企画出しを行った。

**発表会兼マッチングイベント**

最終回としてマッチングイベントを実施しました。本事業への参加者以外にゲストとしてすでに商品の開発をして販売している事業者やメーカー以外の他業種の事業者を招聘することで企画のブラッシュアップに加え、様々な企業様とのマッチングも兼ねたイベントととして執り行った。
実施日:2月 22 日(火)15:00～18:30
場所:みせるばやお
参加人数:47 名
アイデア数:25

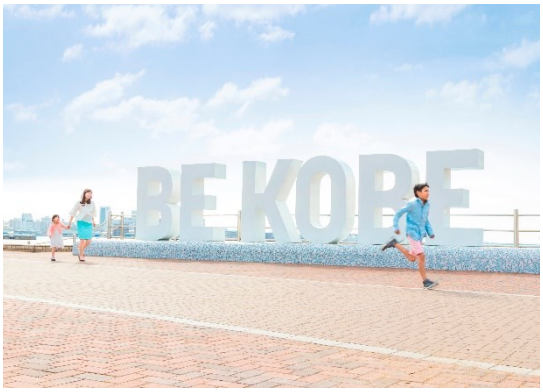
| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 平成 27 年度 | 18,969 千円 |

| 兵庫県 | 機関名 | 神戸市 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 企画調整局参画推進課 |
| | 電話連絡先 | 078-322-6573 |
| 事業名 | 「デザイン都市・神戸」の推進<br>BE KOBE 発信事業 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

「BE KOBE」は、阪神淡路大震災から 20 年目となる平成 26 年度に、大震災の経験と成果の発信と継承等を目的に展開された「震災 20 年継承と発信事業」の一環である「震災 20 年神戸からのメッセージ発信」プロジェクトをきっかけに、多くの市民から出た「神戸の様々な魅力の中で、一番の魅力は人である」という思いを集約したメッセージのロゴとして生まれた。
「BE KOBE」を、神戸市民であることを誇りに思う気持ち、シビックプライドの「メッセージ」として広く発信し、多くの方々が神戸のまちに愛着と誇りを持つ「シビックプライドの醸成」へと繋げていく。

■事業概要
「BE KOBE」というメッセージは、「BEKOBE モニュメント」の存在もあり、多くの市民に浸透してきている。引き続きこれを広げていく発信と活用を推進していく。
○「BE KOBE」を活用したシビックプライドの醸成
平成 27 年度より庁内外での BEKOBE ロゴの使用を許可制とし、民間においても広くロゴの使用を認めることで、理念の浸透を促進している。
○「BE KOBE」モニュメントの設置
メッセージの発信として、「BE KOBE」モニュメントをメリケンパーク（平成 29 年度）、ポーアイしおさい公園（平成 31 年度）、神出山田自転車道（令和 2 年）に設置。神戸の魅力的な観光名所にもなっている
○その他発信事業
ピンバッヂ等のグッズ作成、ウェブサイトの運営等を通して BE KOBE を広く発信。



メリケンパーク「BE KOBE」モニュメント

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 平成26年度 | 1,300 千円 |

| 兵庫県 | 機関名 | 神戸市 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 企画調整局参画推進課 |
| | 電話連絡先 | 078-322-6573 |
| 事業名 | 「デザイン都市・神戸」の推進<br>デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）の管理運営・活用 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

デザイン・クリエイティブセンター神戸（愛称:KIITO＝キイト）は、「創造と交流の拠点」として、旧神戸生糸検査所を改修し平成 24 年 8 月に開設。「デザイン都市・神戸」を推進するため、幅広い世代への多様な企画事業を展開。また KIITO ホールやギャラリーなどの貸館事業や、クリエイティブな活動を行う企業等が入居するクリエイティブラボの運営を行っている。
令和 3 年 9 月、KIITO3 階に「KIITO:300（キイトサンマルマル）」をオープン。こどもの創造的学びと社会貢献活動のプラットフォームとして常設拠点を開設した。
市民の創造性を育むイベント、ワークショップ、さまざまなプロジェクトを通じて、クリエイティブな人材の交流と集積を行っている。

■施設概要
施行年:旧館 1927 年（昭和 2 年）、新館 1932 年（昭和 7 年）
敷地面積:8,601 ㎡
延床面積:旧館 3,489 ㎡、新館 10,290 ㎡
レンタルスペース:ホール、ギャラリー、会議室など
クリエイティブラボ:39 室

■指定管理者:デザイン・クリエイティブセンター神戸運営共同事業体

■おもな実施事業
・KOBE デザインの日記念イベント、＋クリエイティブゼミ、オープン KIITO2022、KIITO マルシェ　ほか

■参考 URL　https://kiito.jp/

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 平成24年度 | 129,000 千円 |

| 兵庫県 | 機関名 | 神戸市 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 企画調整局参画推進課 |
| | 電話連絡先 | 078-322-6573 |
| 事業名 | 「デザイン都市・神戸」の推進<br>「KIITO:300」プラットフォーム事業推進 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

こどもからシニアまで。誰もがもっとクリエイティブに。クリエイティブの芽を育て、育む交流拠点「KIITO:300」が、デザイン・クリエイティブセンター神戸（愛称:KIITO＝キイト）に令和 3 年 9 月オープン。KIITO:300（キイトサンマルマル）は、子どもからシニア、社会人、クリエイターまで、誰もが集まり、つながることのできる場を目指した、あらゆる世代へ開けたプラットフォーム。
このプラットフォーム「KIITO:300」には、こどもたちの好奇心と探究心を刺激し、創造性を育むプラットフォーム「KIITO:300　キャンプ」と、だれもが社会貢献に取り組み、交流できる協働と参画のプラットフォーム「KIITO:300　ファーム」の 2 つの機能がある。

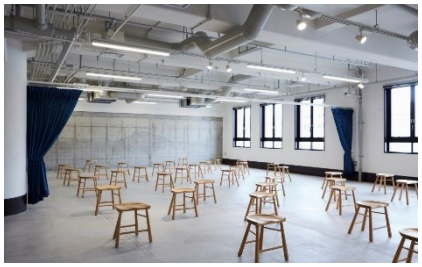
■事業概要
○「KIITO:300　キャンプ」
　クリエイターとともに考えた、子どもたちを対象としたデザインやアートのワークショップやイベントを週末に開催。また、子どもの教育に関わる人々を対象としたレクチャーなども開催し、大人と子どもが共にこの場所で楽しく学べるプログラムを実施。

活動概要
・こどもたちの主体的な学びや探究心を育む創造教育プログラムの開発・提供
・開発、提供するプログラムの効果検証の実施
・こどもの教育に携わる教員や学生などを対象とした人材育成プログラムの実施とコミュニティづくりなど
・家庭、公教育、地域でのプログラムの実施　など

○「KIITO:300　ファーム」
　大学、企業、NPO　などを対象としたプラットフォーム。社会貢献活動の支援や相談を行う窓口業務、一般の方にも参加いただけるトークイベントやレクチャーなどを実施。活動を通して、社会との関わりと人々のつながりを広げる。

活動概要
・活動中のまちの担い手に対する支援（相談対応、研修実施、プロジェクトの紹介、プロジェクトの開発技術の指導）
・新しい担い手の発掘、育成、支援（大学生、社会人、シニアをターゲットにした人材育成、活躍の場の提供）
・学生プロジェクトの立ち上げ・運営
・社会人やシニア等幅広い世代が参加できるプロボノ事業・社会貢献活動に関わる団体・個人・行政がつながり交流する拠点の運営
・SDGs をテーマとした地域共創イベント　など

ワークショップエリア



セミナーエリア

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 令和3年度 | 指定管理事業 |

| 兵庫県 | 機関名 | 神戸市 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 企画調整局参画推進課 |
| | 電話連絡先 | 078-322-6573 |
| 事業名 | 「デザイン都市・神戸」の推進<br>「デザイン都市・神戸」の発信、ユネスコ創造都市ネットワーク連携事業の推進 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

ユネスコ創造都市ネットワーク「デザイン分野」に 2008 年に認定された、「デザイン都市・神戸」の取組みを国内外に発信。他都市との連携によるコラボレーション活動の発信を行う。

■事業概要
〇活動実績（ユネスコ創造都市ネットワーク）
・ネットワークを通じた都市間交流:サントス（ブラジル）での年次総会（令和 3 年 7 月）、ジーロング（オーストラリア）、クリチバ（ブラジル）でのデザイン分野サブネットワーク会議へのオンライン参加（令和 3 年 10 月、令和 4 年 2 月）
〇活動実績（他都市との連携など）
・「UK in Japan2019-20」助成採択に伴い、英国ダンディー市と神戸を結び、クリエイターやアーティスト、デザイナー、技術者が互いに学び合うプロジェクト実施（令和 3 年 6 月）
・札幌市主催のユネスコ創造都市ネットワーク国内都市ミーティングへ参加、国内都市 9 都市で意見交換（令和 3 年 9 月）
・チェンマイ大学（クラフト＆フォークアート都市）がコーディネートしたタイ・シルパコーン大学主催の、大学院生、学識経験者、文化遺産に関わる公的機関からの参加者で構成されるフォーラムで、神戸市が講義（令和 3 年 9 月）
・創造都市ネットワーク日本（CCNJ）での連携で、「創造都市政策セミナー」をオンライン開催、神戸市が主催（令和 3 年 10 月）
・武漢市（中国）で開催された武漢デザインデー＆デザインビエンナーレで「デザイン都市・神戸」の展示（令和 3 年 11 月）
・札幌市の図書・情報館において、各都市の加盟分野での取り組みを広報する図書によるコラボレーション展示（令和 3 年 11 月）
・神戸市出身の俳優・ダンサーである森山未來、振付師・ダンサーのエラ・ホチルド（イスラエル）、認知神経科学者の中野信子が参加し、専門性・アイディアを活かした議論、複数の視点による対話・実験をおこなうアーティストサポートプログラム実施（令和 4 年 1 月）
・浜松市鴨江アートセンター館長・スタッフが神戸市を訪問、デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）スタッフと意見交換（令和 4 年 3 月）
〇情報発信の実績
・ユネスコ「デザイン都市・神戸」のロゴマーク使用促進（令和 3 年度申請件数:24 件）
・「デザイン都市・神戸」の発信:「デザイン都市・神戸」ホームページ、Facebook での情報発信（年間）

デザイン都市・神戸 HP

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 平成20年度 | 1,790 千円 |

| 兵庫県 | 機関名 | 神戸市 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 経済観光局経済政策課 |
| | 電話連絡先 | 078-984-0334 |
| 事業名 | イノベーション創出プログラム「プロジェクト・エングローブ」 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

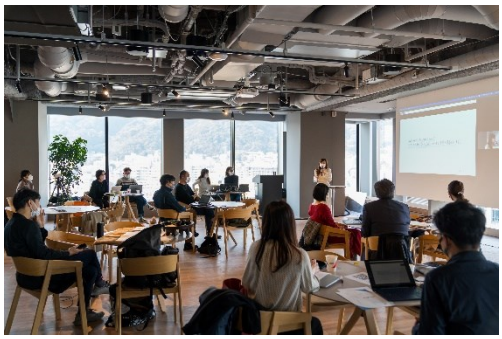
■概要

自治体が主催するプログラムとしては初めて、「ESG※」の観点を取り入れ、市内中小企業と全国から集まった多様な経験とスキルを持つクリエイティブ人材がチームとなり、持続可能な新規事業を生み出すイノベーション創出プログラムです。

※環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）

englobe

地球にいいビジネスを、神戸から。



■プログラム内容

(1)フロンティアラボ

参加者数:市内中小企業5社、クリエイティブパートナー17 名

(2)オープンゼミ（全9回）

【基礎編】関西で活躍する企業の実践者による講演・ディスカッション

【応用編】中小企業診断士によるセミナー

対象:市内企業に勤務している方

参加者数:各回　約 20～30 名

新しい事業領域の開拓に
チャレンジしてみたい
神戸市内企業

×

神戸市内企業とともに
新しい事業を生み出したい
クリエイティブ・パートナー

＜参考 URL＞https://englobe-kobe.com/

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 令和3年度 | 28,000 千円 |

| 兵庫県 | 機関名 | 神戸市 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 経済観光局経済政策課 |
| | 電話連絡先 | 078-984-0334 |
| 事業名 | 市内中小企業×課題解決プログラム「ミライ経営塾 Wonders（ワンダース）」 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

■概要

市内中小企業を対象に、「デザイン経営※」の視点から事業開発・課題解決を実践するプログラムです。
「ブランドデザイン」「組織デザイン」「プロダクトデザイン」の各分野で活躍するメンター3名による伴走型のプログラムを実施し、企業の事業成長の加速を図ります。

※デザイン経営とは
デザインの力をブランドの構築やイノベーションの創出に活用する経営手法です。その本質は、人（ユーザー）を中心に考えることで、根本的な課題を発見し、これまでの発想にとらわれない、それでいて実現可能な解決策を、柔軟に反復。皆瀬円を繰り返しながら生み出すことです。（経産省・特許庁「デザイン経営宣言」2018 より）

■参加企業数　12 社

■メンター
「ブランドデザイン」　星加 ルリコ氏（写真左）
「組織デザイン」　岩野 翼氏（写真中）
「プロダクトデザイン」小林 新也氏（写真右）

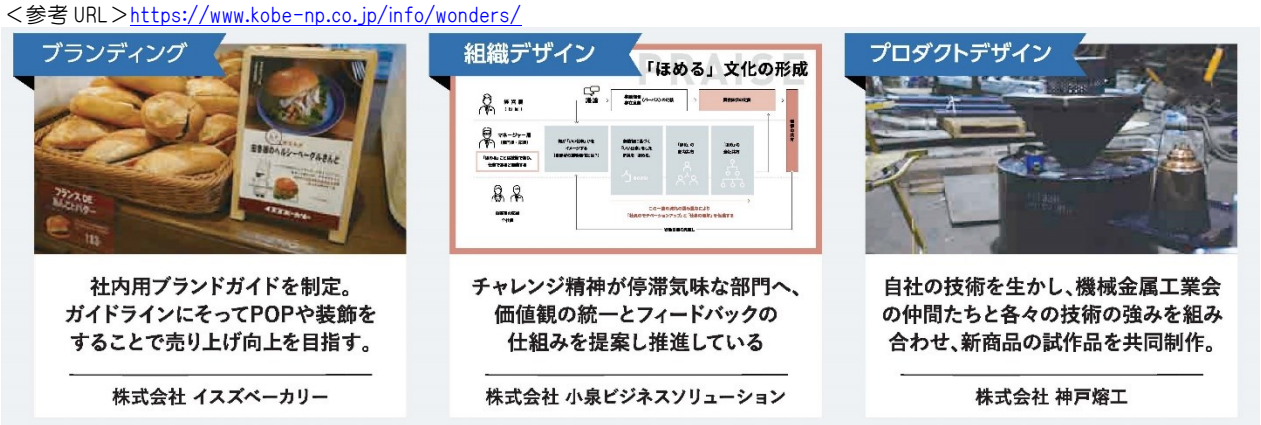
■プログラム内容
・基本講座（全4回）
プロダクトデザイン、ブランドデザイン、組織デザイン、知的財産の4つのテーマに分け、
デザイン経営の考え方を座学とワークショップで学びます。

・伴走支援講座（全6回）
参加した 12 社が「ブランドデザイン」「組織デザイン」「プロダクトデザイン」の各グループに分かれ、
それぞれのメンターとともに事業開発・課題解決を目指します。

・事例とアイデア共有会（11 月4日開催）
各メンター指導のもと、参加企業の課題認識と、そこから生まれる事業成長戦略案について発表し、他の参加企業と共有します。

・最終報告会（3月 10 日開催）
各企業がプログラムを通じて学んできたことや、目標に向けた取り組み状況について発表します。

＜参考 URL＞https://www.kobe-np.co.jp/info/wonders/




| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 令和3年度 | 10,000 千円 |

| 兵庫県 | 機関名 | 神戸市 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 経済観光局経済政策課 |
| | 電話連絡先 | 078-984-0334 |
| 事業名 | 「Kobe Creators Note(神戸クリエイターズノート)」 | |

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■概要
　神戸市内で活躍しているクリエイティブ人材と市内企業とがつながる場を提供し、新たなビジネスを生み出す基盤として、WEB サイト「Kobe Creators Note」を運用しています。

■登録クリエイター数　　約 180 名

■主なコンテンツ
・神戸で活躍するクリエイターを紹介【クリエイターを探す】
・神戸で活躍するクリエイターの仕事を記事で紹介【インタビュー】
・神戸市内企業とクリエイターの共創事例を記事で紹介【コラボ事例】
・市内公募情報などのクリエイティブ案件情報を掲載【案件情報】
・神戸市や登録クリエイターのイベント情報を掲載【イベント情報】

＜参考 URL＞https://kobecreatorsnote.com/

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 令和元年度 | 4,354 千円 |

| 兵庫県 | 機関名 | 神戸市 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 経済観光局経済政策課 |
| | 電話連絡先 | 078-984-0334 |
| 事業名 | 株式会社マクアケとの事業連携 | |

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■概要
　令和3年9月に、神戸市と株式会社マクアケは「中小企業のイノベーション創出・販路拡大支援に関する事業連携協定」を締結し、ICT によるマーケティング・広報という観点から中小企業のイノベーション創出・販路拡大支援を促進します。

■Makuake 活用セミナー・個別相談会
Makuake の仕組みと効果的な活用方法についてセミナーを実施。マクアケ担当者による個別相談会もあわせて開催。
日時:令和3年 10 月 20 日(水)14:00～16:30
場所:　ANCHOR　KOBE　※オンライン同時開催
　　(神戸市中央区加納町 4-2-1　神戸三宮阪急ビル 15 階)
参加者数:36 名

■神戸市×Makuake 特集ページ
　令和4年3月より、神戸の企業が挑戦するプロジェクトを一覧で見ることができる、神戸市×Makuake 特集ページを開設しました。本ページを活用し、神戸から新たに生まれた優れた商品・サービスについての情報を全国に届けます。

＜参考 URL＞https://www.makuake.com/partner/kobecity

KOBE UNESCO City of Design × Makuake

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 令和3年度 | ― |

| 奈良県 | 機関名 | 奈良県 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 産業・観光・雇用振興部　地域産業課 |
| | 電話連絡先 | 0742-27-8804 |
| 事業名 | 小規模地場産業振興補助事業「デザイン開発事業」 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

＜事業内容＞
・伝統に培われた技術力を活かす独創性の高い商品づくりの支援策として、専門のデザイナーが小規模地場産業（毛皮革・履物・スポーツ用品）の商品開発に参画し、デザイン開発を指導・支援することで商品力の強化を図り、業界の活性化を目指す。
＜事業実施主体（補助先）＞　奈良県毛皮革協同組合連合会、奈良県履物協同組合連合会、奈良県スポーツ用品協同組合連合会
＜講師＞（協）ｼﾞｬﾊﾟﾝﾃﾞｻﾞｲﾝﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰｽﾞﾕﾆｵﾝ会員デザイナー等
※下記補助予算額は、毛皮革・履物・スポーツ用品各連合会等への補助総額であり、販路開拓等、他の事業への補助も含む。

デザイン開発事業実施フロー

【1.テーマ設定】
・新商品のデザイン
・商品のｶﾗｰﾊﾞﾘｴｰｼｮﾝ
・商品の新ロゴデザイン
・商品の新ﾊﾟｯｹｰｼﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ
等から、開発テーマを議論し決定

【2.コンセプト検討】

商品特長、ﾀｰｹﾞｯﾄ層、競合、販売ﾙｰﾄ等を議論

【3.新デザイン提案】

デザインスケッチを元にデザイナーから提案

【4.商品化】

雪駄、ｻﾝﾀﾞﾙ
グローブ等

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 令和2年度 | 7,533 千円 |

| 奈良県 | 機関名 | 奈良県産業振興総合センター |
|---|---|---|
| | 部署名 | 創業・経営支援部商業・サービス産業課 |
| | 電話連絡先 | 0742-31-9084 |
| 事業名 | 奈良ブランド開発支援事業 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

○事業内容
　奈良ブランド開発支援事業は、従来型の地域ブランドとは異なり、モノ単体の開発ではなく、生活者からの信頼を得てファンを作っていく企業の取組自体を支援する事業です。
　地域を越えて多様な業種が参加し、短期的成果よりも顧客と真摯に向き合おうとする社会性の高い参加者間のネットワークを構築。これを通して個々の事業者のブラッシュアップを図り、自分達の個性を見出した事業者は、松屋銀座、リビングデザインセンターOZON、阪急百貨店、等において、個々の世界観を披露する機会を獲得し、顧客とつながる距離をショートカットしています。
　それらによって個々の企業のブランド化を図ろうとする取組です。「ヒット商品を目指すのではなく、作り手と使い手の双方が愛着を感じるロングセラーを目指すモノづくり」というテーマを各企業が共有し、切磋琢磨しながら、自社ブランド構築に繋がる取組を実施しています。本事業は、グッドデザイン賞を 2012 年、2013 年、2014 年、2018 年と4回受賞。

＜プラットフォーム型活性化モデル＞
①　ブラッシュアップミーティング
　　＝多様な地域、多様な業種の参加による切磋琢磨

②TEIBAN 奈良の動詞のデザイン展
作り手が、会場でお客様の声を伺い、そこから得られた評価から課題を生み出し、進化に繋げる。

③N･A･R･A T･E･I･B･A･N
（松屋銀座内）
平成 30 年4月に松屋銀座に常設出店。

＜参考 URL＞　http://www.pref.nara.jp/43989.htm

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 令和4年度も継続して実施 | 平成 21 年度 | 3,198 千円 |

| 奈良県 | 機関名 | 奈良市 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 観光経済部産業政策課 |
| | 電話連絡先 | 0742-34-4741 |
| 事業名 | 既存事業者支援事業「デザイン経営で再考する中小企業の経営戦略～自社の信念・伝統をカタチにする経営セミナー～」 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

【事業内容】
新型コロナウイルス感染症の拡大などにより消費者の嗜好が大きく変化している中、従来のビジネスの手法では対応できない可能性が高まっています。こうした状況において、「デザイン」＝もののカタチという概念を超え、デザイナーの手法や思考方法を企業の課題発見・解決に活かす「デザイン経営」という手法が注目されています。本市では、デザイン経営を国と一体となって普及推進することで、アフターコロナに向けた市内産業競争力の強化を図ることを目的にセミナーを開催しました。

【開催日時】
令和4年3月16日　14:00～17:00

【開催場所】
奈良県コンベンションセンター　205・206 会議室　（奈良市三条大路1丁目 691-1）

【テーマ】
デザイン経営で再考する中小企業の経営戦略～自社の信念・伝統をカタチにする経営セミナー～

「自社の想いからビジネスをつくる -デザイン経営とアート思考- 」
講師:株式会社 SASI　代表取締役　近藤清人氏

「自社の信念・伝統をカタチにする経営戦略 -デザイン経営の実践-」（パネルディスカッション）
パネリスト:
大阪大学経済学研究科 教授　延岡健太郎氏
株式会社 SASI 代表取締役　近藤清人氏
昌和莫大小株式会社 代表取締役　井上克昭氏
ファシリテーター:
近畿経済産業局産業技術課知的財産室長　横山幸弘氏

【主催】奈良市　（協力:近畿経済産業局、運営委託先:奈良商工会議所）

【参加人数】115 名（現地参加 46 名、オンライン 69 名）

【参考 URL】https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/109/135027.html

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| デザイン経営の伴走型支援事業（奈良市デザイン経営フロントランナー企業育成プログラム）を実施 | 令和 3 年度 | 2,061 千円 |

| 近畿<br>経済産業局 | 機関名 | 近畿経済産業局 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 地域経済部　産業技術課　知的財産室 |
| | 電話連絡先 | 06-6966-6016 |
| 事業名 | 令和３年度　デザイン経営による知財戦略構築推進事業 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

■事業概要

デザイン経営をすでに実践している中小企業4社に対し、デザイン経営の手法を用いて、共創（コ・クリエイション）に向けたハンズオン支援を実施。企業のビジョンやパーパスを基に、外部人材や他企業との共創による事業の価値創出を探索し、新たな事業計画の策定を支援。また、共創を行う際に重要となる知的財産の取扱いについても検討を行った。

■成果小冊子

「Draft プロジェクトレポート」

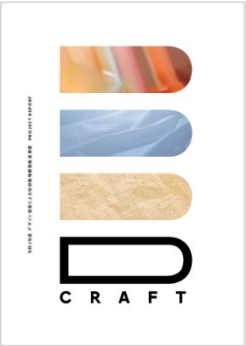
https://www.kansai.meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/Dcraft_book.pdf

■成果報告会

2022年３月17日（オンライン開催）

（参考 URL）

https://www.kansai.meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/design_LW.html




| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 令和３年度 | ― |

| 近畿<br>経済産業局 | 機関名 | 近畿経済産業局 |
|---|---|---|
| | 部署名 | 地域経済部　産業技術課　知的財産室 |
| | 電話連絡先 | 06-6966-6016 |
| 事業名 | 令和３年度　関西デザイン経営推進事業 | |

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

■事業概要

デザイン経営にこれから取り組みたい中小企業 8 社に対し、専門家チームによるハンズオンでのデザイン経営の導入支援を実施。専門家が、企業の歴史、強み、経営者の意思・情熱を引き出しながら、企業のアイデンティティ・ビジョンの「見える化」を行い、アイデンティティやビジョンに基づいたコンセプト策定・プロトタイピングの支援を実施。

■成果小冊子

「中小企業のためのアイデンティティ型デザイン経営読本」

https://www.kansai.meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/SASI_book.pdf

■成果報告会

2022 年度 3 月 11 日（ハイブリッド開催）

（参考 URL）

https://www.kansai.meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/design_SASI.html

| 令和4年度実施予定 | 開始年度 | 予算額 |
|---|---|---|
| 継続して実施予定 | 令和３年度 | ― |